

令和3年度笠原小学校へ入学予定の児童保護者との意見交換会 主な意見・質問と回答

日時：7月15日（水）午後6時30分～8時45分

場所：笠原公民館

主催：鴻巣市教育委員会

参加者：13名

出席者：齊藤教育部長、清水副部長、大島副部長、鳥沢課長、藤平副課長、新井副主査、
PTA 会長（鴻巣市小・中学校のあり方研究懇話会委員）

1. 開会
2. 挨拶（教育部長）
3. 資料説明
 - （1）これまでの笠原小学校に関する審議会等の経緯
 - （2）笠原小学校児童生徒数の現状と推移
 - （3）教育委員会としての今後の方針（笠原小学校の統廃合について）
 - （4）鴻巣市立小・中学校通学区域審議会後の経緯
※令和2年度笠原小学校入学予定であった児童が0人となったことへの対応
 - （5）入学までのスケジュールについて
4. 在校生保護者との意見交換会での意見について
5. 意見交換
6. 閉会

【意見と回答の要旨】 ※「→」は当日の回答

1. 登下校の保護者の負担について、鴻巣中央小学校に通うと登校支援はあるというが、下校支援がないため、迎えに行くと仕事ができない。経済的に負担が大きくなるので考慮してほしい。
→登校支援については、現状では直線距離 2 キロ以内、集合場所まで保護者に付き添ってもらおうこととなっている。
今後、状況に応じて、支援の内容についても見直すこととなる。
就労状況により、放課後児童クラブの利用が可能と考える。所得によって、利用料金も違ってくるため、詳細についてはこども応援課に相談してほしい。
2. 噂で笠原小学校の廃校については聞いてはいたが、鴻巣中央小学校への通学等については考えていなかったため、来年度からの対応は難しい。
→制度上、今年度の廃校という対応は可能ではあるが、教育委員会としては、懇話会等において、スピード感を持ちつつ、慎重にといった意見等をいただいていることもあり、準備期間を設けて、子どもが早く馴染むことができるよう、交流事業等を実施してからの統廃合を考えている。
3. 廃校ありきで進んでいる話なのか。
→経緯の説明でもあったように、審議会等での検討を重ねた結果、子どもたちの教育ということを第一に教育委員会として決断させていただいた。
ただし、あくまで、議会の議決により決定するものである。
スケジュールについては、できる限り早いうちに示したい。
4. 学校の様子を知る機会が欲しい。
現実的に社会に出て 5 人しかいないといったことはないため、ある程度の集団は必要であり、そのような意味で、鴻巣中央小学校への通学は良いと思うが、通学させる上での親の負担が懸念される。
→放課後児童クラブの他、就学に関する支援については、情報提供を含めて検討していく。
5. 登校支援の集合場所について。
→二貫野、東光寺、久伊豆神社北側、小宮集会所の 4 か所であり、鴻巣中央小学校へ通学している各家庭から集まりやすい場所となっている。
現状では鴻巣中央小学校であっても 2 キロ基準をもって集合場所を設定し、実施するとしか言えないが、今後状況が変わった場合には、他の方法についても検討が必要と考える。

6. 安養寺地区の場合、今年度中に笠原小学校が廃校とならなければ、来年度は指定校が笠原小学校の他に、鴻巣北小学校も選択できるが、兄弟等がいた場合、今後、安養寺地区も杓子定規に鴻巣中央小学校へ通学するようと言われると、例えば兄弟で別々になることが危惧される。
→通学区域審議会に諮っての決定となるが、兄弟で別々になるといったことがないよう経過措置を含めて審議していただきたいと考えている。

7. 安養寺地区では若い世代が、鴻巣北小学校に通学した保護者であるため、笠原地域との繋がりがどこまであるか不透明である。
→通学区域審議会には地域の方も参加いただく予定であるため、地域の実情も踏まえて審議していただきたいと考えている。

8. 今後は下校支援について、考えていないのか。収入面を考えると、仕事を中断して迎えに行くというのは難しいと考える。
→今後、仮に児童全員が鴻巣中央小学校への通学となった場合には、全員が放課後児童クラブに行くわけではないし、いくら高学年であっても、鴻巣中央小学校から自宅まではかなりの距離がある児童もいるため、下校に関する支援についても当然検討しなくてはと考えている。

9. 現段階では来年度の下校支援はないということか。
→現段階では、来年度の笠原小学校の廃校は考えていないため、通学区域の弾力化の中で、通学に関しては保護者の責任において実施することとなっており、下校については保護者をお願いすることとなる。
 仮に笠原小学校が廃校ということになった場合には、下校支援を検討しなくてはと考えている。

10. 兄弟で送ってもらえる、もらえないという事があるのか。
→（希望し、条件に合致した場合）兄弟で違った対応とすることはない。

11. 鴻巣中央小学校への保護者の送迎について、どこに車を停めるのか。
→陸上競技場の駐車場を利用させていただいている。行事等の際も同様。

12. 少人数に関するメリット・デメリットがわからない等の意見があったが、わからないことは在校生の保護者の皆さんから教えてあげてほしい。
在校生の保護者の皆さんはPTA活動を含めて、協力的で助かっている。
13. 笠原小学校は保護者が相互協力することを含めて、とても良い関係が築けており、良い学校であると思っている。新1年生が0名だったことで、現実問題どうしたら良いか迷っている。
14. このまま廃校になっていくことを考えると、入学から鴻巣中央小学校への入学を考えているが、自動車の運転に自信がないため、送迎はかなりの負担である。下校支援についても検討してほしい。
→下校支援についても、継続して検討していく。
15. 廃校については見通しを早めに示してほしい。
上の子は、笠原小学校に通い友達もいる。これから入学する下の子は、今後の児童数次第では複式学級も考えられるため、迷ってしまう。
兄弟で同じ学校に行くのか、違う学校に行くのか家庭でも結論が出ない。
様々な選択肢が考えられるため、可能な限り早くスケジュールを示してほしい。
→皆さんから意見をいただきながらスケジュールを検討しているが、保護者の方からは来年の3月からという意見もいただいている。
教育委員会では、早い段階でお示しできればと考えている。
16. 教育委員会としては、いつの議会で提案するのか。
→9月議会での提案については、意見交換を含めて、様々な手続きが必要であるため、現段階で考えていない。
17. 仮に最短で12月議会に提案し承認を得た場合は4月から統廃合となるのか。
→教育委員会としては、来年度は交流事業等を実施したいと考えているため、再来年度以降を考えている。
18. 今現在、入学時から鴻巣中央小学校に通学するには直接相談するしかないのか。
地域で噂にもなってしまうため、保護者としては、地域では穏便に過ごしたい。
板挟みにはなりたくないため、早く方向性を定めてもらいたい。
→鴻巣中央小学校への入学に関しての、窓口は学務課となり直接相談していただくことになる。スケジュールについては早めに示す。

19. 通知が木曜日に郵送で送られてきた。保護者と相談の結果、本日参加した。

先週の意見交換会も1週間前の通知で、平日の午後6時半開始。参加者も少なかったと聞く。重要なことを、このような日程で開催するのは失礼だと思う。土日も会議室は空いている。審議会や一般質問において、保護者や地域住民に丁寧に対応することを言われているのに、1週間前の通知等、丁寧な対応といえない。

→当初 PTA 主催の意見交換会を3月に開催予定であったが、コロナウイルス感染症の拡大により、開催が見送られていた経緯があった。

その後、各会議を経て教育委員会としての決断をしたため、早めに保護者の方にはお知らせしたいと思った。なお、会議に参加できなかった場合には、内容をまとめてお知らせするとともに、窓口、電話にていつでも問い合わせを受け付ける。

在校生保護者との意見交換会については、土日が休みの方ばかりではないし、日程の検討を重ねた上での実施となった。1回目に来られなくても、2回目3回目等と続けていきたいと思ってこの日程にした。

20. 審議会等、全て傍聴しているが、審議会、議会にもスケジュールを出していないのに意見交換会を開始するのは、議会軽視と考える。

→教育委員会では笠原小学校の現状を踏まえ、6月議会以降も日々検討している。議会が終わったばかりで急ではないかという声もあるが、児童を取り巻く環境は刻一刻と変化しているため、総合的に判断して、意見交換会を実施している。

議会に対しては、今後丁寧に説明していく。

21. 文科省の通知に記載のある丁寧な議論がされていない。地域住民との意見交換会をいつやるのか。

→意見交換会においても、間隔を開けずに実施してほしいとの意見をいただいていることから、現在日程調整中のため、今月中に実施する予定である。

22. 家族と相談したが、要望として、年度途中で児童が一斉に行くことは困る。複式学級に関する勉強も議論もされていないのに間違ったスピード感だと思う。

全部の学年が卒業するまで笠原小学校を残してほしい。

22-1. 徐々に児童が減っていき、新入生に関するイベント等が体験できないのは避けたい。

下級生との触れ合いというのも大切であると考えているため、徐々にではなく、下に下級生がいるうちに、早めにスケジュールを示してほしい。

→教育委員会としては、徐々に児童が減っていく方法ではなく、一定期間で線引きし、その時点での6年生を見送って、一斉に鴻巣中央小学校へと考えている。

23. 校長がこのような意見交換会の開催について知らないといっている。

→校長とは相談の上、日程を決定した。意見交換会後についても、PTA 会長と校長で連携をとっている。

24. 1 年生の保護者に対し、勧誘していないといっているが、現実が違う。保護者は勧誘されたといっている。2 年生の保護者にも連絡している。審議会の答申とは真逆のことをやっているため許せない。地域は憤慨している。

→勧誘は行っていない。経緯のところでも説明させていただいた通り、鴻巣中央小学校に行きたいけれども、スクールバスは出ないのかという声をいただき、その後導入となったが、現在の 2 年生についても複式学級の対象となっているため、教職員の配置についての確認を取らせていただいた。

先日の意見交換会では 2~4 年生の保護者を対象に実施したが、誘導したといった声はいただいている。

とにかく子どもたちの事を第一に考えた決断である。

25. 議事録を開示してほしい。または情報提供してほしい。

→公開・提供方法について検討する。

26. 通学区域の弾力化の「その他、教育上必要と思われる場合」の「児童生徒の教育を受ける機会を保障するため（要協議）」が不明確である。

→今回、鴻巣中央小学校への通学に関しては、妥当と決するに至らなかったため、付帯意見に基づく笠原地域に限った対応となっている。弾力化の基準とは異なる。

安養寺地区については基準に載っていて、鴻巣中央小学校については、個別の対応に限っている。